

計画小委員会 活動報告

計画小委員会
小委員長 松下 潤

1. 小委員会の目的

環境的，経済的，財政的な制約のもとで，また限られた空間の中で高密度な社会を営むべきわが国にとって，豊かで活力ある地域・都市を形成するためにも，地下空間の有効かつ計画的な活用は今後ますます重要な課題となる．計画小委員会は，こうした認識から，都市空間の再編や都市再生に結びつく地下空間利用の計画システムや事業システム，費用対便益・価値評価システム等の確立を目的として研究活動を行っているところである．

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 地下空間利用の計画・事業システムに関する研究
- (2) 地下空間利用の有用性評価に関する研究
- (3) 地下空間利用の法制度等に関する研究

2.2 基本方針

今期の計画小委員会は、『地上空間のための地下空間利用』という新たな考え方のもと，「有用性評価」と「法制度等」の2つのWGにおいて情報・資料の収集整理と事例調査・研究を進めるとともに，ボストン BigDig プロジェクト等これまでに取り組んできた事例研究の掘り下げや外部の専門家による講演などの活動を通じて課題の抽出を行い，地上・地下を含むエリアマネジメントの視点から，地下空間利用の計画・事業システムの望ましいあり方を研究し体系的なとりまとめを目指す．

研究テーマ	基本方針	備考
(1)地下空間利用の計画・事業システムに関する研究	地上・地下を含むエリアマネジメントの視点から地下空間利用の計画・事業システムの望ましいあり方について研究する．	・ 下記WG活動の反映 ・ 小委員会全体で取り組むべき (WGの範疇外となる) 活動
(2)地下空間利用の有用性評価に関する研究	地下空間利用のメリット・デメリットに関する整理を行い，各項目の貨幣価値換算手法を含めて検討・提案する．	・ WG設置
(3)地下空間利用の法制度等に関する研究	多岐にわたる関係者や法制度等について体系的な整理を行い，課題の抽出と課題解決に向けた提言をとりまとめる．	・ WG設置 ・ 都市地下空間活用研究会 ((財)都市みらい推進機構) との連携

2.3 研究スケジュール（3か年）

活動内容／年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1)情報・資料の収集整理	←→		
2)事例の調査・研究		←→	
3)課題の抽出, 具体的分析研究		←→	→
4)成果とりまとめ			←→

3. 活動経過（平成 22 年 1 月～）

◇平成 22 年 2 月 5 日 第 5 期第 6 回小委員会

- ・地下空間を含むエリアマネジメントの必要性と課題～渋谷駅周辺地区の事例から
(話題提供：アバンアソシエイツ 松下浩司 氏)

◇平成 22 年 7 月 12 日 第 5 期第 7 回小委員会

- ・地下空間利用の評価手法について (話題提供：京都大学 小林潔司 教授)

◇平成 22 年 10 月 26 日 第 5 期第 8 回小委員会

- ・報告書の取りまとめ方針について

◇平成 22 年 1 月 28 日 第 5 期第 9 回小委員会（予定）

- ・大深度地下空間の課題 (話題提供：国土交通省 佐藤寿延 防災調整官)

◇その他

- ・各WGにおいて、事例研究及び全国大会研究討論会のサポート、地下空間シンポジウム投稿論文の作成協力。

4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先名称
委員長	松下 潤	芝浦工業大学
委員	浅野 光行	早稲田大学
委員	植松 敏幸	(独)都市再生機構
委員	大熊 久夫	(財)計量計画研究所
委員	岸井 隆幸	日本大学
委員	工藤 康博	三菱地所(株)
委員	古賀 大陸	株式会社エイト日本技術開発
委員	清木 隆文	宇都宮大学
委員	染次 治仁	東京都 都市整備局
委員	西 淳二	NPOジオテクチャーフォーラム
委員	築瀬 範彦	足利工業大学
委員	山田 文孝	三井住友建設(株)
委員	横塚 雅実	鹿島建設(株)
幹事	村田 哲哉	(株)ドーコン